

公益社団法人 日本経営工学会
第 33 期第 6 回理事会議事録

日 時：平成 28 年 5 月 21 日（土） 15:00～17:00

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 5F 大会議室

出席者：（理事）河野宏和、二ノ宮滋、外館晃、篠田心治、松林伸生、伊呂原隆、稲田周平、
斎藤文、小西昭士、内田耕平、大久保寛基、皆川健多郎

（監事）高橋勝彦、後藤正幸

欠席者：（理事）岩崎昭

議決事項

1. 第 33 回期第 5 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より、(資料 1-1)に基づき、第 33 期第 5 回理事会議事録(案)が提示され、議事録として全会一致で承認された。

2. 入会、会員権利喪失承認の件

会員担当理事より、(資料：1-2-1)に基づき、正会員 18 名、学生会員 23 名、賛助会員 1 社 (1 口)の入会申請が報告され、全会一致で承認された。また、総会資料案（下記 4. 参照）に基づき、会費滞納による会員資格喪失者が報告され、全会一致で承認された。併せて、(資料：1-2-1)に基づき、平成 27 年度、28 年度会員異動報告がなされた。

会員資格喪失者については、2 月中に督促請求書を発送するとともに各理事より可能な限り声かけを行った結果、対象 45 名のうち、正会員 4 名、学生 1 名の入金を確認した。

3. 役員担務変更の件

会長より、資料(資料 1-3)に基づき、編集(経営システム誌)担当理事を 2 名体制とすることが報告され、全会一致で承認した。

4. 総会資料の件

庶務担当理事より、総会資料案が提示され、既に代議員には送付済みであることが報告されるとともに、誤字脱字の指摘については今後も受け付けることを条件に資料内容に関して全会一致で承認した。なお、産学連携研究交流会の収益について、213 万 5000 円との記載があるが、208 万 5000 円の誤りである旨指摘があり、資料に反映することとした。

また会長より、総会の議題の中で新年度予算については審議事項とはしないこととしているが、会員数の増強は容易でなく、一方で事務局経費の値上げもあることから、財政的に厳しい状況にあることを総会等の場で共有する必要がある旨の報告があった。

5. 委員の委嘱の件

庶務担当理事より、当日配布資料に基づき、WEB 対応として庶務委員に 1 名追加することが報告され、全会一致で承認した。

協議事項

1. 論文誌執筆細則（和文・英文）の変更の件

編集（論文誌）担当理事より、(資料:1-5)に基づき、論文誌執筆細則（和文・英文）の変更について、提案、説明がなされた。これまで実施してきた英文号 CD-ROM の発行を取りやめ、電子ジャーナル上での即時公開とすることし、これに併せて、論文誌執筆細則および Instructions for Manuscript Preparation of English Papers for the Journal of the JIMA の記述変更案が提示され、全会一致で承認した。ただし、将来的に J-STAGE のサービスが廃止された際のリスクを想定し、原稿の原本管理の方法について、編集委員会内で継続検討することとした。

2. ホームページリニューアルの件

庶務（広報）担当理事より、(資料:1-6)に基づき、ホームページリニューアルについて、6月中旬を目途に公開する方向であり、サンプルページの確認依頼がなされた。また、産学連携研究交流会のご案内等、記載内容に関する問い合わせ窓口として、庶務委員のメーリングリストを作成しホームページ上に掲載する提案がなされたが、趣旨に鑑み、庶務委員のメーリングリストではなく、ホームページ記載内容の問い合わせを目的として関係者が登録可能な新たなメーリングリストを作成することを、全会一致で承認した。

3. 人材育成に関するホームページ掲載の件

人材育成担当理事より、(資料:1-7)に基づき、人材育成に関するホームページ掲載について、これまで実施してきた人材育成に対する公募が少ないこと、他学会の人材育成に関するホームページとリンクが取れないことを鑑みて、人材育成に関するページを追加する提案がされ、全会一致で承認した。

報告事項

1. 退会について

会員担当理事より、(資料:1-2-1)に基づき、退会について報告がなされた。

2. 2015(H27)年度の予実算報告について

財務担当理事より、(資料:1-8)に基づき、2015(H27)年度の予実算報告がなされた。2015年の実算としては111万円の黒字となったが、国際WSおよび産学連携研究交流会の収入の寄与が大きく、今年度も予算の更なる精査が必要である旨の説明がなされた。併せて、2016年度の収支フォロー予定について報告がなされた。1Q 収支実績報告は、実績取りまとめのリードタイムと理事会開催予定日を加味し、9月5日とする旨報告があったが、2Qの報告との間隔を加味し、8月前半で再調整することとした。

3. 論文誌編集委員について

編集（論文誌）担当理事より、(資料:1-9)に基づき、第33回後半期のエリアエディタについて報告があり、担当者数が少ない分野への人員補強として、生産マネジメント分野で1名、確率統計分野で3名を増員する旨、報告があった。また、エリアエディタの位置付けやそれに伴う権限の範囲などのあるべき姿については、引き続き編集委員会を中心に議論をしていくことが確認された。

4. 第33期第6回「国際渉外委員会」理事会報告について

国際渉外担当理事より、(資料:1-10)に基づき報告がなされた。このうち、第17回 APIEMS のアブストラクトの締め切りについては、5月15日と報告があったが、5月27日に再々延長となったため、各理事は関係ラインに連絡いただきたい旨、依頼があった。併せて、FMES の予算の一部剰余金を利用して、各学会の大会等で企画を実施するという案が紹介されたとの報告があった。春季大会や秋季大会、研究部門への海外研究者の招致などへの利用について意見が挙がったが、FMES との連携内容も踏まえた上で今後の対応について検討していくこととした。

5. 掲載料・別冊代請求一覧について

編集(論文誌)担当理事より、(資料:1-11)に基づき、掲載料・別冊代請求について報告がなされた。一部請求先については、催促を行う予定としている。

6. 通常総会の議題について

庶務担当理事より、(資料:1-12)に基づき、通常総会の議題について、例年の議題から一部変更がある旨、報告がなされた。本件は、定款第15条に則した運用であり、審議事項としては、平成27年度事業報告及び収支決算報告、6月総会開催追加に関する定款変更、役員及び代議員選挙運用規則改定の3件とし、委員会規則の変更と経理規則、名誉会員掲載の件、会費滞納者権利停止・会員資格喪失予告の件は、報告事項とすることとした。

7. 産学連携研究交流会の実施状況について

産学連携担当理事より、産学連携研究交流会の実施状況について報告があった。各セッションのグループディスカッションでは、学校関係者が結論の導出に向けたファシリテーションをする役割を担っていただけているが、参加数が少ない状況にある。このことから、大学関係者の参加促進に向けた施策を第4分科会からトライアルで実施することを検討中である旨、報告がなされた。併せて、各理事に対しても、参加および適任者への告知いただくよう依頼があった。

8. プレ会員制度活用の活性化について

会員担当理事より、事前に許可をいただいた非会員に対しメールマガジンやイベント情報を送付する「プレ会員制度」について、現状60名程度を対象としているが、更なる増加に向けて今後開催される春季大会等のイベント等で賛同いただける方がいればご紹介いただきたい旨、依頼があった。また、学会活性化の施策として、学会パンフレットやシステム誌を配布する案が挙がり、残部を確認する等、継続検討することとした。

9. 業務執行状況報告

代表理事より業務執行状況について報告がなされた。まず河野会長からは、決算、新年度予算及び事業計画、産学連携研究交流会等に関する基本的方針について指揮・確認した旨の報告がなされた。次に二ノ宮副会長からは、2015年度の決算及び2016年の予算に関して、審議ならびに決議を行った旨、報告がなされた。最後に外館副会長からは、産学連携研究交流会の第一期の運営と第二期の企画を指揮した旨の報告がなされた。

※次回第33期第7回理事会は、平成28年7月9日(土)15:00~18:00、慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館5階大会議室にて開催する。

議 長 河野 宏和 印

議事録署名人 高橋 勝彦 印

議事録署名人 後藤 正幸 印